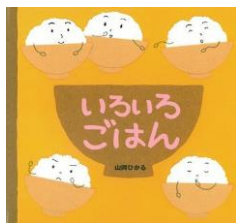


秋のおすすめ絵本



いろいろごはん



作: [山岡 ひかる](#)
出版社: [くもん出版](#)

美味しそうに炊けているいつものごはん。そのごはんたちが言葉のリズムにのって、いろんな料理に変身しちゃいます。
ぎゅうぎゅうまきまき、大きなりを巻き付けて、おにぎり！たくさんの具をのせてまいて、くるりん、のりまき。更にさらさらお茶づけやぷっくりぞうすい、ぽっこりチャーハンも。紙だけの貼り絵で表現している美味しそうなのだから驚きです！

おつきさまなみにみてる



作: [なかじま かおり](#)
出版社: [岩崎書店](#)

夜空にうかぶ、まあいお月さまが、ねむっている子犬や小鳥、子猫をやさしく見守っています。そして、お家で眠る、小さな赤ちゃんも.....。
赤ちゃんにぴったりの、おやすみなさいの絵本です。赤ちゃんが好むという人間の顔のパターンが、優しいお月さまになって登場する、小さな赤ちゃんから楽しめるベビー絵本です。

いろいろおふろはいり隊



作: [穂高 順也](#)
絵: [西村 敏雄](#)
出版社: [教育画劇](#)

にんじんさん、たまねぎさん、じゃがいもさんが、いろんなお風呂をレポートしてくれます。
カレーやシチュー、お味噌汁のお風呂に、なんとサウナや日焼けサロンまであります！
広い厨房を舞台に、おふろはいり隊がレポート三味、コトコト、シューシュー、ジリジリ、グラグラ、あっちゃー！色々な音が読み聞かせにもぴったりです。

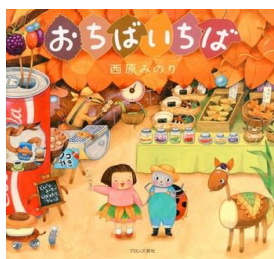
どんぐりころころ



監修: [大久保 茂徳](#)
写真: [片野 隆司](#)
出版社: [ひさかたチャイルド](#)

どんぐりが成長していく様子や、たくさんのどんぐりの種類を紹介してくれている写真絵本です。
実寸大のどんぐりが並んでいるので、拾ってきた本物のどんぐりと比べても面白いですね。
どんぐり拾いのお散歩のお供にもいかがでしょうか。

おちばいちば



作: [西原 みのり](#)
出版社: [ブロンズ新社](#)

さっちゃんが、ドンダのお馬さんに乗ってやってきたのは、なんとも不思議な「おちばいちば」。木の実でつくったごちそうや、おちばのスカート、ずらりとならんだおちばの魚など、さっちゃんにはぎやかな市場を大満喫。するとそこへあらわれたのは、大きなキツネ！ はっぱを頭にのせると.....。

うれないやきそばパン



文: [富永 まい](#)
絵: [いぬんこ](#)
作: [中尾 昌穂](#)
出版社: [金の星社](#)

今にも潰れそうなおじいさんのパン屋さんに、光り輝くデニッシュパンのポールがきたことから、やきそばパンのピョンタは店を去ろうとします。
ところが、ポールよりもピョンタを選ぶお客さんが現れます。
思いやり、自信を持つことや物の大切さを伝える絵本です。